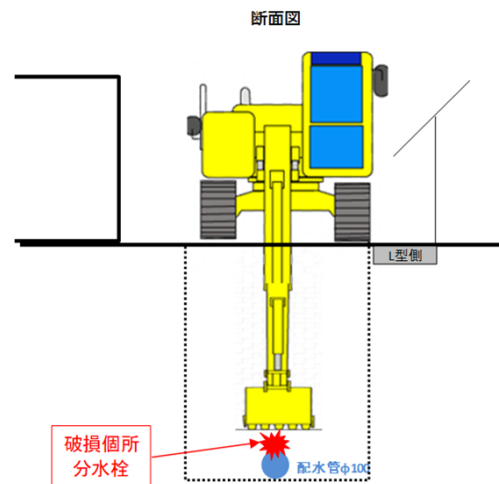


公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和元年 7月 2日(火曜日) 11時25分			工事関係者区分	元請け
事故区分	埋設物等損傷	性別		年齢		業種区分	土木
被災程度	給水管損傷			事故レベル	I	休業見込日数	
工事概要	道路下水道局建設部中部下水道課						
事故概要	雨水管を布設するためにバックホウで掘削した際に、給水管に接触し破損させたもの。						
事故原因	掘削時に地下埋設物の布設状況が確認できていないにも関わらず、バックホウにて掘削したため。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・事故後の安全訓練(再発防止)の実施 ・地下埋設物のマーキング 						

事故状況図



安全訓練(再発防止)の実施

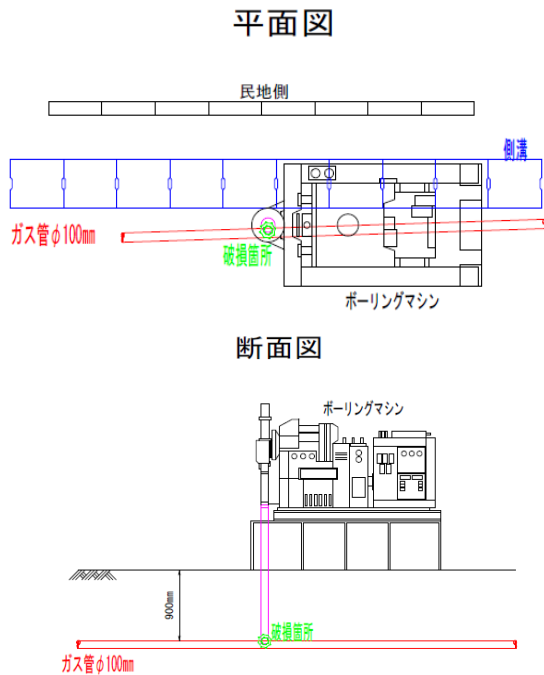


地下埋設物のマーキング

公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和元年7月9日(火曜日) 11時30分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	ガス管φ100の破損(住居等への影響無し)			事故レベル	I	休業見込日数	なし
工事概要	観測孔設置工, 薬液注入工, 小口径推進工						
事故概要	薬液注入工に係る観測孔設置のためボーリングを行ったところ, ガス管φ100を破損した。						
事故原因	試掘や地下埋管理者との立会等による地下埋設物の位置確認を怠ったため。						
改善策	削孔等の作業の着手に当たり, 作業を行うもの全員で地下埋設物等の位置を指さし確認する。						

事故状況図



状況写真

改善状況図



地下埋設物位置の指さし確認



架空線位置の指さし確認

公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和元年7月5日(金曜日)10時00分			工事関係者区分	元請け
事故区分	墜落・転落	性別	男性	年齢	78	業種区分	土木
被災程度	左足首脛骨骨折			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	90日
工事概要	公園の除草						
事故概要	作業員が公園内で手押し芝刈り機を用い石垣近傍の傾斜地での除草を行っていたところ、方向転換を行おうとした際に草の中にあつた石に芝刈り機が接触して浮き上がり、そのはずみで作業員が体勢を崩して石垣から転落して受傷したもの						
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> ・本来、傾斜地では刈払機を用いるところ、使用するべきではない芝刈り機で作業を行ったこと ・本来、飛散防止ネットを持つ作業員と2人1組で行うところを一人で行っていたこと ・現場管理人や安全担当者が、作業状況を見落とし、作業の停止を指示しなかったこと ・現場着手前における事前の支障物除去が不完全であったこと 						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・作業前のミーティングで、当日の作業範囲・班編成・使用機械等の確認事項を周知徹底 ・現場管理者や安全担当者の適切な配置により作業中の安全対策を確認徹底 ・作業前の支障物除去を徹底 						

事故状況図



○事故当時の作業機械(芝刈り機)



○傾斜地で使用するべき作業機械(刈払機)



改善状況図



作業前ミーティング
(当日の作業範囲・班編成・使用機械等の確認)

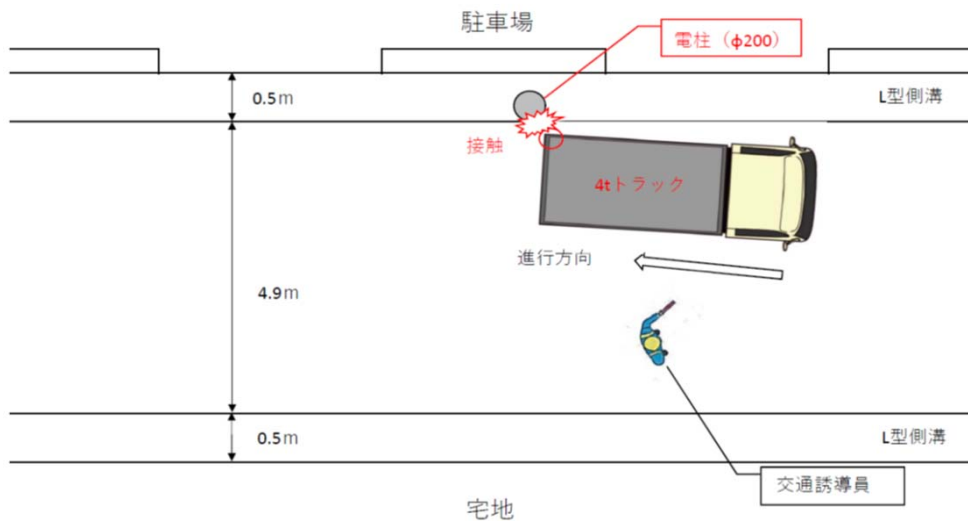


作業員の適正配置
(2人1組で、安全担当者の監視の下、作業を行う)

公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和元年7月23日(火曜日)11時10分			工事関係者区分	二次下請
事故区分	その他の物損	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	NTT電柱の破損			事故レベル	I	休業見込日数	-
工事概要	配水管布設工事						
事故概要	道路上での配水管布設作業中、埋戻材を搬入するためダンプトラック(4t)を後進にて現場に進入させていたところ、NTT電柱(直径約20cm)と衝突し、当該電柱の根元を折損したもの。						
事故原因	後進で進入してきたダンプトラックを交通誘導警備員が運転席側で誘導したため助手席側にあったNTT電柱を見落としたこと、また、ダンプトラック運転手も助手席側を十分確認せず進入したことなど、工事区域内における工事車両の誘導方法等に不備があったことによるもの。						
改善策	安全訓練を行い、再発防止として下記の実施する。 ・ダンプトラック等工事車両の誘導については、進入箇所を指差し確認するなどにより支障物の有無を十分確認のうえ誘導すること。 ・工事用車両の運転手全員に後進時の後方確認等を徹底させることにより同種の事故の再発を防止すること。						

事故状況図



改善状況図

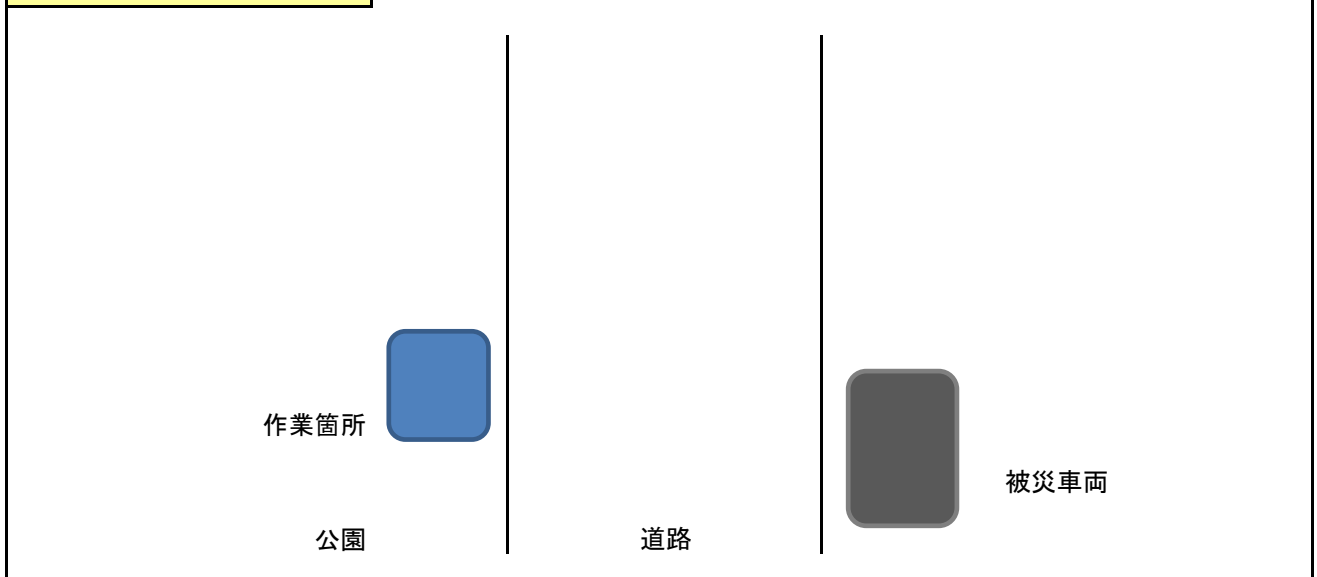


再発防止に向けた安全訓練を実施

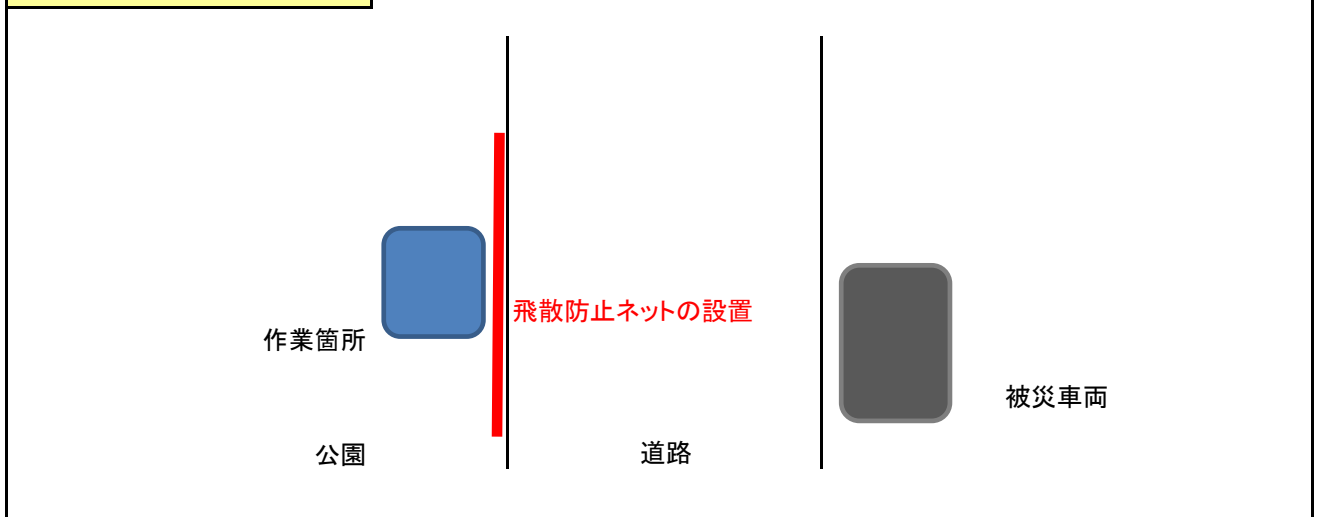
公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和元年 7月22日(月曜日) 15時頃			工事関係者区分	元請け
事故区分	両・自転車等損	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	駐車中の車両窓ガラスを破損			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	福岡市城南区東油山2丁目地内 除草作業						
事故概要	肩掛式刈払機を用いての除草作業中に、刈払機回転部分に当たった飛散物が道路を隔てた駐車場に駐車していた車両の助手席側窓ガラスに当たりこれを破損した。						
事故原因	作業箇所周辺の仮囲いと利用者への注意喚起は行っていたものの、小石などの飛散による被害を防止するための飛散防止ネット使用等の対策が講じられていなかったため。						
改善策	刈払機を用いた除草作業時には、飛散防止対策として飛散防止ネットを設置することを徹底する。						

事故状況図



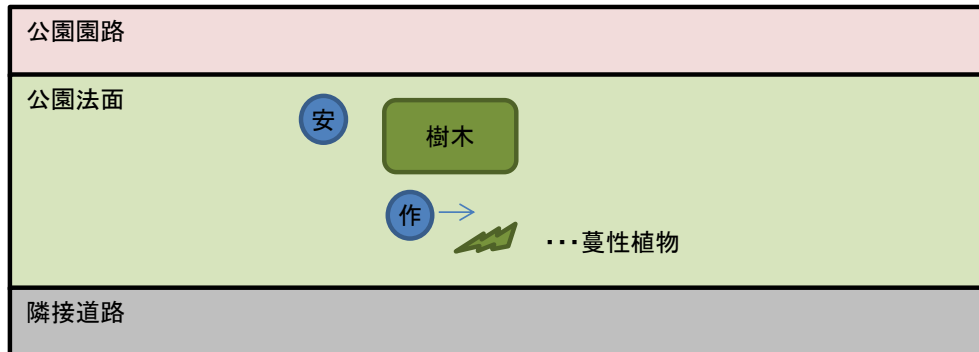
改善状況図



公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和元年7月18日(木曜日)9時0分			工事関係者区分	元請け
事故区分	工具等取扱	性別	男性	年齢	71	業種区分	土木
被災程度	左手小指第一関節付近を切断			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	4日以上
工事概要	公園等の除草清掃業務						
事故概要	<p>被災者が室見川緑地内で手押し芝刈機(ロータリー)で除草作業中、刃に絡まりやすい蔓性の植物が生えていた。植物が絡まってエンジンが止まるのを事前に防ぐために、被災者本人が手で植物を除去しようとしたところ、左手小指がロータリーの刃に当たり裂傷した。</p> <p>尚、前進で除草をしていたロータリーの動きは停止させていたが、エンジンを切っておらず刃が回転したままになっていた。また普段の作業時は、蔓性の植物が多く生えている場合はロータリーでの作業前に手刈りにて除去しているが、少量の場合は作業前に見つけることが困難である為、ロータリーや刈り払い機でそのまま刈っている。</p> <p>事故当時、安全担当者を芝刈機作業場所近くに配置していたが、安全担当者は歩道利用者の確認のため、歩道側を重点的に確認していた。また、被災者と安全担当者の間には植込があったため、安全担当者も危険作業の確認が出来ず、作業停止が出来なかった。</p>						
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> 被災者がエンジンを停止させない状態で、刃が回転しているにも関わらず、刃の近くに手を出してしまったこと。被災者は長年手押しロータリーでの作業を行っており、慣れや油断もあったと考えられる。 絡まりやすい蔓性植物が生えている際は、手刈りにて除去すべきところをしていなかった。少量でも見つけた際は手刈りにて除去すべきだった。 						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 公園等除草清掃業務就業会員全員で事故発生状況を確認の上、以下の事項を確認、徹底した。 手押し芝刈機(ロータリー)に関わらず、機械作業においては移動、点検、注油、清掃、調整、修理はもちろん、何らかの作業を行う場合、必ずエンジンを止め、刃の動きが止まった状態で行うこと。 草刈り作業前に、事故原因となった蔓性の植物のみでなく、石やごみ等の支障物の撤去を徹底すること。 各班の作業箇所を安全担当者の監視が十分行き届く様配置すること。 						

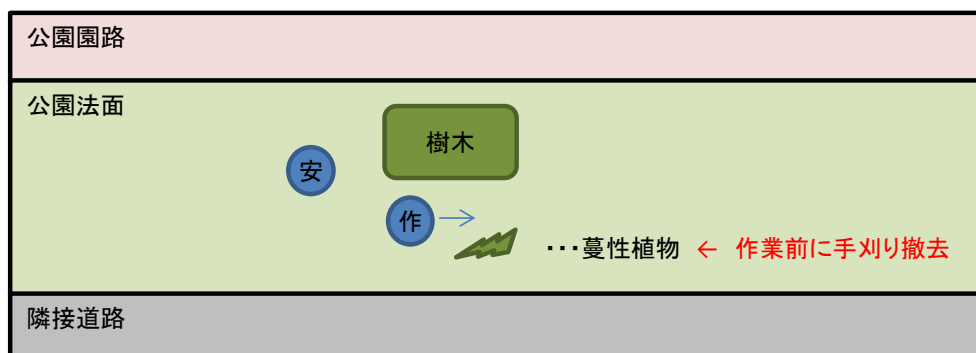
事故状況図



作 作業者

安 安全担当者(石飛防止ネット使用) 園路側歩行者を警戒

改善状況図



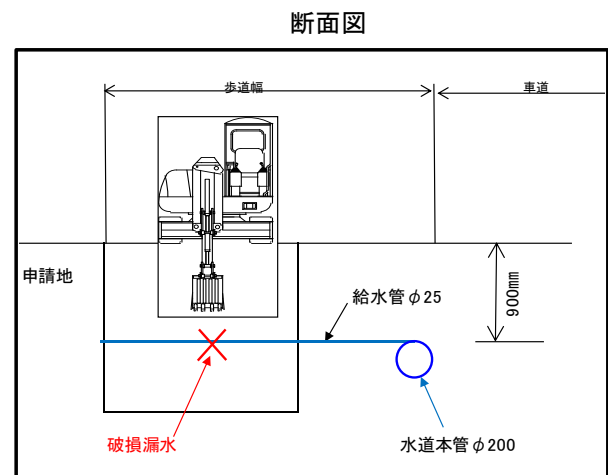
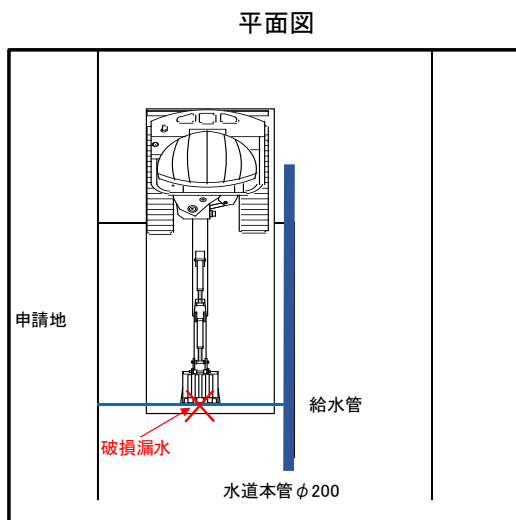
作 作業者

安 安全担当者(石飛防止ネット使用) 園路側歩行者を警戒, **かつ作業者の安全作業を確認**

公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 元年 7月23日(火曜日) 10時24分			工事関係者区分	元請け
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	給水管φ25破損			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	公共汚水柵及び取付管設置工事						
事故概要	公共汚水柵設置工事において、給水管が2箇所引き込まれていたところを、掘削の復旧箇所及び止水栓が1箇所しか現地にて確認できていなかったため、1箇所しか引き込まれていないものと誤認し、掘削作業中に確認できていなかったもう1箇所の給水管φ25を破損させたもの。						
事故原因	作業前の現地調査において埋設位置の確認を十分に行っていないこと。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 作業前のKY活動において、地下埋設物の状況を指し確認やマーキングで明確にし、作業従事者全員で共有する。 工事前に給水工業者や宅内排水設備業者と協議を行い、現地での埋設位置の確認を徹底する。 						

事故状況図



改善状況図



作業前KY活動時のマーキング及び指し確認



安全講習会

公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和元年7月27日(土曜日)3時40分			工事関係者区分	二次下請
事故区分	工具等取扱	性別	男性	年齢	25	業種区分	土木
被災程度	左親指爪下血腫			事故レベル	I	休業見込日数	-
工事概要	地下鉄七隈線延伸工事						
事故概要	被災者は、仮受工の下杭を添接板とトルシアボルトで接続中、シャーレンチ本体が回転し、鋼材フランジ部とシャーレンチ本体との間にシャーレンチ本体を下から支えていた左手親指が挟まれた際、あわてて引き抜き負傷した。						
事故原因	ボルト締付け時に一定のトルクがかかった際、シャーレンチ本体が回転しようとする力に対して十分な固定が出来ていなかった。						
改善策	①シャーレンチ使用の際は、安定した体勢でシャーレンチ本体が回転しないように、手でしっかりと固定させる作業手順を徹底する。 ②シャーレンチ本体に追加持ち手を取付け、両手にて締付け作業が出来るようにする。また、持ち手を使用する事で、鋼材フランジ内に手をいれなくて作業が行えるようにシャーレンチ本体を改良した。						

事故状況図

作業場所状況写真

シャーレンチ本体が回転し、H鋼フランジとシャーレンチ本体との間に、左手親指が挟まれあわてて親指を引き抜いた



※締付け作業時、シャーレンチ本体が重い(7.1kg)ため、左手を下から支えていた。



商品コード	S24
種別	M22/24
メーカー	TONE
型式	GH241AT
最大締付トルク (N・m)	1250
電圧/電流 (V/A)	100/22
消費電力 (W)	2000
無負荷回転数 (min ⁻¹)	17
電源コード (m)	2.5
質量 (kg)	7.1

使用ボルト：M24トルシアボルト
使用機械：M22/24対応シャーレンチ(7.1kg)

改善状況図

再発防止対策状況写真

追加持ち手を取付け、両手でしっかりと固定する



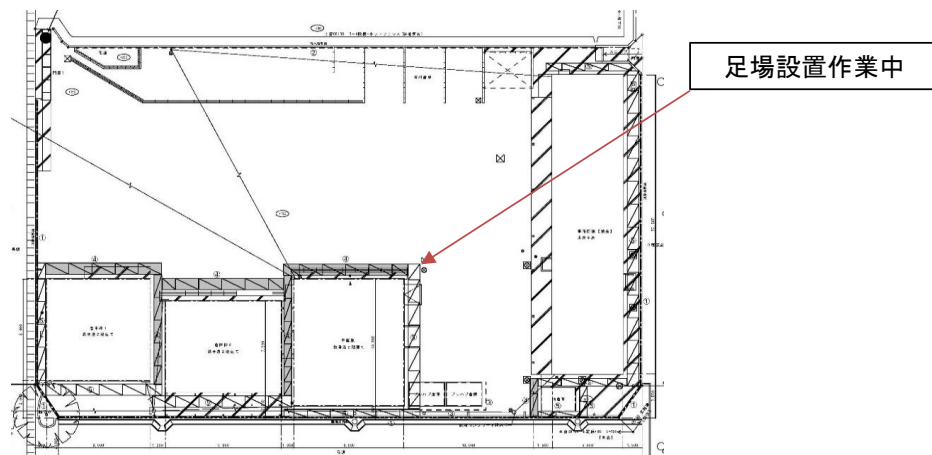
ハンマードリル用持ち手を固定バンドを使用して、シャーレンチに取付

※追加持ち手を取付ける事により、固定しやすくと共に、フランジ内に手が入らないようにした。

公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和元年 7月27日(水曜日) 16時00分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	熱中症	性別	男性	年齢	44	業種区分	建築
被災程度	熱中症	事故レベル	I			休業見込日数	2
工事概要	建築物解体工事						
事故概要	PM16:03 本人の申し出により水分・塩分補給、日陰で休憩等を行った PM16:13 筋肉痙攣を起こした為、救急車を依頼 PM16:20 救急車到着、救急隊が被災者の状態を確認し、現場を出た PM16:40 病院に到着し検査、点滴開始						
事故原因	炎天下作業であった 寝不足の疑いがあったが朝礼・KY時に現場責任者が確認をした所、本人はしっかり寝ていると主張した為作業を行わせた(熱中症になった時に寝不足であった事が判明した)						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ① 現場作業員への空調服の支給 ② 散水による現場の温度低下 ③ チェックシートの活用(注意喚起) 						

事故状況図



改善状況図



熱中症への注意喚起状況